

審査結果概要書

平成 24 年 9 月 7 日

審査機関名 シー・アイ・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	ヒートポンプを利用したエコアグリハウスにおける温室効果ガス排出削減事業
排出削減事業者名	合同会社北海道新エネルギー事業組合
排出削減共同実施事業者名	公益財団法人北海道環境財団
その他関連事業者名	
事業実施場所	合同会社北海道新エネルギー事業組合 (北海道標津郡中標津町字開陽 1360-1)
事業の概要	本事業は、ビニールハウスで標準的に使用される灯油焚温風暖房機ではなく、ヒートポンプと灯油焚温風暖房機との併用による暖房とすることで、温室効果ガス排出削減を図るものである。
排出削減量の計画	2011 年度： 9 tCO ₂ /年 2012 年度： 56 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 65 tCO ₂)
国内クレジット 認証期間	事業開始日 2012 年 3 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 004-C 空調設備の新設

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、2012年8月10日に事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：合同会社北海道新エネルギー事業組合 (北海道標津郡中標津町字開陽 1360-1)
追加性を有すること	<p>1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の順守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、削減事業実施者への質問等により確認した。</p> <p>2) 投資回収年数 排出削減事業の投資回収年数については、入手した根拠資料、質問および検算により全体で3.6年であることを確認している。投資回収年数計算の根拠データについては、関連証憑と突合することにより正確性を確認している。また、投資回収年数については設備投資額から補助金を差し引いた純投資額をもとに算出していることを確認している。</p> <p>3) 追加性判断における定性要因 当該組織の事業開始の意図は、町への貢献と環境配慮(クレジットは町に寄付)が目的である。最終的には、ミルクヒートポンプ等の普及を通じて中標津町の低炭素化及び発展につなげることが狙いであることを、事業者へのインタビューにより確認している。以上の通り、本事業は国内クレジット制度への参加を意図して実施されたものであり、追加性があると判断できる。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	自主行動計画への参加の有無について、訪問時の事業者への質問、その他関係者への質問により自主行動計画に参加している事業者でない事を確認した。

<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1) 本排出削減事業は、承認排出削減方法論 004-C に基づき排出削減量を計算しており、該当する適用条件を満たしていることを確認した。</p> <p>適用条件 1 については、空調設備を新設していることを現地確認及び関係者への質問により確認している。</p> <p>適用条件 2 については、本事業により新設するヒートポンプは、標準的な灯油焚温風暖房機よりも高効率であることを関連資料及び関係者への質問により確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリーの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>
----------------------------	--

4. 特記事項

なし